

学位論文審査結果の要旨

博士課程 甲・乙	第 58 号	氏 名	土屋 和代
審 査 委 員		主 査 氏 名	佐藤 士郎
		副 査 氏 名	下田 和哉
		副 査 氏 名	河上 洋
<p>[論文題名] Frequency of CD4+CD161+ T Cell and Interleukin-10 expression in inflammatory bowel diseases Acta Histochemica et Cytochemica (in press)</p> <p>[要 旨] 土屋和代氏は炎症性腸疾患 (IBD) の病態解明の一助として潰瘍性大腸炎患者の腸管粘膜固有層に認められる CD4 陽性 CD161 陽性 T 細胞と IL-10 発現に着目し検討を行った。同氏は解析の結果より、潰瘍性大腸炎の活動性炎症部位では CD4 陽性 CD161 陽性 T 細胞の割合が非活動性炎症部位に比べて有意に減少し、潰瘍性大腸炎の臨床的重症度と CD4 陽性 CD161 陽性 T 細胞の割合は逆相関していたことを認めた。一方、IL-10 発現は非活動性炎症部位よりも活動性炎症部位により多く認められた。従って、同氏は潰瘍性大腸炎において CD4 陽性 CD161 陽性 T 細胞の割合の減少と IL-10 の高発現は腸管炎症病態の形成に関連し、これらを制御することが炎症の改善や治療につながる可能性を考察した。</p> <p>本研究論文は日本組織細胞化学会の英文機関誌『Acta Histochemica et Cytochemica』に受理されており、当該領域において臨床研究での重要な知見であると認められる。また、質疑応答では同氏は主査と副査からの質疑に対して的確に応じた。</p> <p>本学位論文審査の結果から、学位授与に資する論文であると判定した。</p>			